

# 「自然木増えれば流木減る」



「九州北部豪雨でも自然のまま放置した森は崩れなかった」と  
氾濫した小川のそばで話す平野さん  
—熊本県菊池市

# 防災へ「植えない森」

7月31日  
(水曜日)

発行所  
西日本新聞社  
福岡市中央区天神1丁目  
4番1号(〒810-8721)  
©西日本新聞社 2013年  
電話092(711)5555(代)  
http://nishinippon.co.jp/  
お客さまセンター  
092(711)5331  
平日10~18時  
土曜10~14時(日・祝日休み)  
購読・配達のご案内(7~20時)  
0120-44-0120

工芸界の将来を担う  
福岡の74人  
技ありき 夢ありき  
出版部 092-711-5523

# 西日本新聞

不動産 表示登記 無料相談会

土地家屋調査士が現場表示登記に関する色々お電話でお応えいたします

2013年7/29(月)~31(水) 1日

0120-02

福岡県土地家屋調査士会 調査士会 福岡

- オスプレイ追加12機岩国へ
  - 6月失業率、3%台に改善
  - 北部九州高校総体第3日
  - 水の事故防ぐには…
  - 日韓戦の横断幕めぐり論争
  - 防災へ「植えない森づくり」
  - 社説 日本郵政 食物アレルギー
- 小説・碁将棋 6 生活 2  
文 化 13 地 域 断 2

# 伐採地買い、自生待つ

## 熊本の環境保護団体

植林をやめて、樹木の自生を待つ「植えない森づくり」に熊本市の環境団体を取り組んでいる。昨夏の九州北部豪雨では、大きなスギやヒノキが麓に流れ込み被害が拡大したが、「深く根を張る自然木が増えれば、土砂崩れや流木の被害は減る」と訴える。これまでに協賛金約4千万円を集め、人工林の伐採地を購入。借地も含めヤブオクトーム64箇分の山地に、自然木が育つのをじっと待ち続けている。

団体は熊本市東区の平野さん(75)を手伝ってきた。野虎丸さん(75)が代表の「エコシステム協会」。本、宮崎の県境で国有林平野さんは14歳から、熊の伐採事業に下請けとして本県水上村の実家で林業で関わったとき、大量に

種から育った樹木はタイコンのようにまっすぐ下の太い根が伸びるが、挿し木では太い根は横に伸びて安定しづらいといふ。一条件が良ければ、挿し木のスギは樹齢40年で高さ30m、重さ100kg、重さ100kgを工面した。



切り倒される大木を見て胸が痛んだ。「経済活動のためとはいえ、こんな山奥の自然まで破壊して植林するのは間違いだ」。山を下りた平野さんは熊本県警に事務職員として務める傍ら、野鳥や自然林の保護を開始。1980年代に仲間10人と団体を立ち上げた。

女性「孫の世代に本当の山を残すことができた」。千円を寄付。2千万円に取組むなど「植えない森」は広がりつつある。「麓に民家がある山の人

平野さんによると、スギやヒノキの植林は挿し木がほとんど。枝を切り取り、少し根が出たところで山に植える方法だ。平野さんが「植えない森」を提唱すると、賛同する人が徐々に集まり始めた。福岡市に住む高齢

86年以降に集まった協賛金約4千万円で、熊本県内11カ所の山地計約260haを購入。借地も含め計450haの山地に自然が戻るのを待つ。その一つ、熊本県菊池市の山はスギ林の伐採後、数年間は「荒れ山」だったが、8年後、ナラなど落葉広葉樹に覆われるようになった。今ではシカも姿を見せる。昨夏の豪雨で近くの小川が氾濫したが、この森で土砂崩れは起きなかった。

4年前から、岡山県が

植林せず自生を待つ事業

に取り組むなど「植えない森」は広がりつつある。

「麓に民家がある山の人

工林は全て伐採した方がいい。今、方向転換しない

と惨事が起きてからでは遅い。今年も後を絶たない豪雨災害に、平野

さんは警鐘を鳴らす。

(上野洋光)

不明

行方